学校番号	1101

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅲb	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新　数学Ⅲ（数研出版）						
副教材等	Study-Up ノート数学Ⅲ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
　ノートをしっかり書くことも大切ですが，問題を解決するにあたって、
　①問題の意味を理解する。
　②解決の方法を予想したり，類題があったか思い出したりしてみる。
　③問題を解決する。
　④解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える。
　ということを意識して活動し，自分の考えを発表したり，友達を一緒に考えたりします。
・ノート，教科書，問題集を用意してください。
・課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

平面上の曲線と複素数平面についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	平面上の曲線と複素数平面における考え方や体系に関心をもつとともに,数学のよさを認識し,それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	平面上の曲線と複素数平面において,事象を数学的に考察し表現したり,思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して,数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 単元テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	単元テスト 定期テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	複素数平面	複素数平面	○	○	○		a:複素数平面に対する興味 b:複素数を平面上に表す c:複素数の計算が出来る d:複素数の性質の理解	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		複素数の極形式		○	○	○	a:極形式に対する興味 b:極形式を図形的にとらえる c:複素数の計算が出来る d:極形式の性質の理解	
		ド･モアブルの定理		○	○	○	a:定理を発見しようと試みる b:定理を図形的にとらえる c:定理を使った計算が出来る d:ド・モアブルの定理の理解	
後期	式と曲線	2次曲線	○	○	○		a:２次曲線に対する興味 b:曲線をグラフで表す c:曲線の式・焦点等を求める d:曲線の標準形の理解	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		極座標と極方程式			○	○	a:極座標で表そうと試みる b:極座標を図で表す c:極座標・極方程式を求める d:直交座標との関係の理解	
	関数	分数関数と無理関数	○	○	○		a:分数関数･無理関数への興味 b:関数をグラフで表す c:直線との共有点を求める d:関数の性質の理解	
		逆関数と合成関数		○	○	○	a:逆関数・合成関数への興味 b:関数をグラフで表す c:逆関数・合成関数を求める d:定義域と値域の関係の理解	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。